

2012. 12. 13

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2012年 第3四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その  
「概要」をお届けします。  
ご高覧下さるよう、よろしく願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2012 年第 3 四半期)

2012 年 7-9 月のわが国の景気は、輸出不振に伴う外需の落込みなどで GDP 速報値が年率 3.5% 減となり、景気後退局面入りの見方が出てきた。

化繊景況は、衣料用は高密度織物の不振などで盛り上がり欠け、自動車関連用途もエコカー補助金終了を控え低調、化繊生産は前年比 6.5% 減の 24.3 万トンであった。

### 国 内

1) 国内景気は、欧州の債務危機、中国・新興国の景気減速など海外景気の下振れにより、我が国の景気も弱めの動きとなった。

繊維景況は、ダウンジャケット、ユニフォーム用が在庫調整に手間取り苦戦、保温肌着用も前倒し出荷が進んでいたことで 7-9 月期は調整気味であった。カーテン、カーペット用は、新規住宅着工件数が堅調だったものの、製品輸入が主体となり恩恵を受けず。カーシート、シートベルト、吸音材などの自動車関連用途は、エコカー補助金終了を控え 10 月から自動車メーカーが減産を予定しているため低調、タイヤコード用もアジア地域のタイヤの需給バランス悪化の影響を受け苦戦した。震災復興関連では、帆布用などの需要が収束したが、漁網用や除染処理用のフレコン向け出荷が堅調であった。

2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比 4.8% 減、前期比 2.7% 減、化繊 6.4% 減、5.2% 減。紡績 5.9% 減、6.1% 減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が前期比 1.2% 増、化繊 1.0% 減、紡績 4.7% 増となった。（生産、在庫とも指数ベースの比較）

3) 繊維品輸出は、ドルベースで 24.5 億ドル・前年比 6.0% 減、また円ベースでも 1,925 億円・5.1% 減。形態別（ドルベース）では、繊維原料・前年比 3.3% 減、糸類・2.4% 減、織物類・8.8% 減、二次製品他・5.9% 減。仕向地別（ドルベース）では、全体の 36.1% を占める中国が 13.4% 減の 8.8 億ドル、香港（8.5% 減）、韓国（7.4% 減）、台湾（5.2% 減）、アセアン地域は、ベトナム（4.9% 増）、タイ（0.4% 減）・インドネシア（11.0% 増）・マレーシア（8.0% 減）となり、それ以外では米州（0.1% 増）、西アジア（21.1% 増）、欧州（10.9% 減）であった。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 122.2 億ドル、前年比 2.5% 減、また円ベースは 9,606 億円・1.4% 減。形態別（ドルベース）では、繊維原料は 1.6 億ドル・28.9% 減、糸類 3.5 億ドル・13.5% 減、織物 3.7 億ドル・11.7% 減、二次製品他 113.4 億ドル・1.3% 減。仕出地別では、全体の 72.9% を占める中国が 4.6% 減の 89.1 億ドル、韓国（6.1% 減）、台湾（11.6% 減）、アセアン地域は、ベトナム（14.7% 増）、インドネシア（16.0% 増）、タイ（8.3%

減)、マレーシア (2.0%増)、それ以外では、イタリア (1.1%増)、米国 (2.6%減) となった。

### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	11.7-9	12.4-6	12.7-9	前年比(%)	前期比(%)
輸出	千ドル	2,603,221	2,574,510	2,447,810	-6.0	-4.9
計	百万円	202,754	206,327	192,454	-5.1	-6.7
繊維原料	千ドル	416,962	425,244	403,158	-3.3	-5.2
糸類	〃	340,801	332,156	332,545	-2.4	0.1
織物類	〃	845,726	859,650	771,457	-8.8	-10.3
二次製品他	〃	999,732	957,460	940,650	-5.9	-1.8
輸入	千ドル	12,539,085	9,631,706	12,223,902	-2.5	26.9
計	百万円	974,122	772,988	960,594	-1.4	24.3
繊維原料	千ドル	225,917	172,656	160,729	-28.9	-6.9
糸類	〃	402,235	378,562	347,903	-13.5	-8.1
織物類	〃	415,484	388,853	366,976	-11.7	-5.6
二次製品他	〃	11,495,448	8,691,636	11,348,294	-1.3	30.6
(うち衣類)	〃	(9,927,674)	(7,207,786)	(9,788,690)	-1.4	35.8
輸出レート	円/ドル	77.9	80.1	78.6	0.9	-1.9
輸入レート	円/ドル	77.7	80.3	78.6	1.2	-2.1

(出所) 財務省

5) 化繊生産は 24.3 万トンを前年比 6.5%減、前期比 3.8%減、うちセルロース繊維は 4.1 万トン・1.4%減、6.3%減。合繊 20.3 万トン・7.4%減、2.9%減。期末在庫は前年比 2.1%減、前期比 1.2%減、うちセルロース繊維が 12.2%減、0.9%減、合繊 0.1%増、1.3%減であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は 15.2 万トン・前年比 4.2%減。うち、繊維原料は 7.6 万トン・1.9%減、糸類 2.8 万トン・6.9%減、織物類(面積ベース) 1.47 億㎡・12.4%減、二次製品 2.4 万トン・2.4%増であった。レーヨン S は 13.5%増、ナイロン F 13.6%増、ポリエステル F 18.1%減、ポリエステル S 9.8%減、アクリル S 10.8%減、織物類(面積ベース)はナイロン F 織物 16.5%減、ポリエステル F 織物 18.4%減、ポリエステル S 織物 0.2%減となった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は 39.1 万トン・前年比 5.4%減。繊維原料は 1.3 万トン・19.7%減、糸類 4.9 万トン・4.8%減、織物(面積ベース) 1.46 億㎡・16.2%減、二次製品 30.3 万トン・4.4%減、うち衣類 17.4 万トン・6.4%減となった。ナイロン F は 4.9%減、ポリエステル F 3.3%減、ポリエステル S 24.4%減、ポリエステル紡績糸 7.7%減、織物類(面積ベース)はポリエステル F 織物 22.7%減、ポリエステル S 織物 11.6%減であった。

## 化学繊維の主要指標

項目	単位	11. 7-9	12. 4-6	12. 7-9	前年比 (%)	前期比 (%)
化繊生産	千トン	260.2	252.1	243.3	-6.5	-3.5
セルロース	〃	41.3	43.4	40.7	-1.4	-6.3
合 繊	〃	218.9	208.6	202.6	-7.4	-2.9
化繊在庫	〃	97.3	96.4	95.3	-2.1	-1.2
セルロース	〃	17.2	15.2	15.1	-12.2	-0.9
合 繊	〃	80.1	81.2	80.2	0.1	-1.3
化繊輸出	千トン	159.0	159.0	152.3	-4.2	-4.2
	100万ドル	1,616.6	1,640.4	1,524.4	-5.7	-7.1
	億円	1,258.9	1,314.7	1,198.5	-4.8	-8.8
繊維原料	千トン	77.8	76.1	76.3	-1.9	0.4
糸 類	〃	30.3	28.0	28.2	-6.9	0.7
織物類	百万㎡	168.3	174.6	147.4	-12.4	-15.6
二次製品	千トン	23.1	26.6	23.7	2.4	-10.9
化繊輸入	千トン	413.1	311.6	390.6	-5.4	25.3
	100万ドル	6,174.4	4,075.0	5,980.2	-3.1	46.8
	億円	4,792.1	3,270.7	4,698.0	-2.0	43.6
繊維原料	千トン	16.6	11.4	13.3	-19.7	17.2
糸 類	〃	51.4	50.4	48.9	-4.8	-2.9
織物類	百万㎡	174.6	167.5	146.4	-16.2	-12.6
二次製品他	千トン	317.2	223.1	303.3	-4.4	35.9
(うち衣 類)	〃	(185.9)	(107.2)	(174.1)	-6.4	62.4

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

### 6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

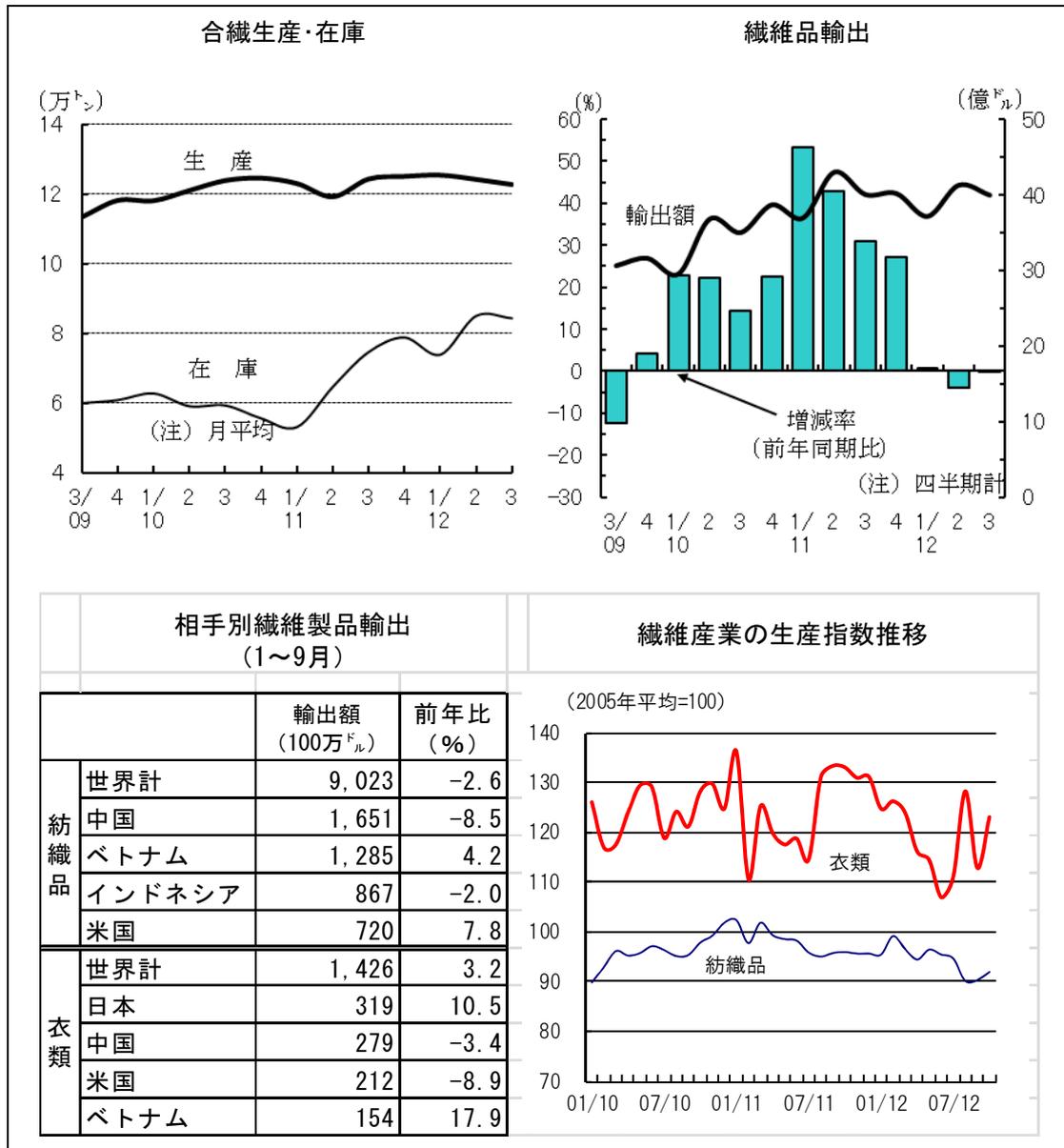
**ポリエステルF**：生産は4万1,026トン・前年比9.0%減、織物生産9,179万㎡・11.3%減。衣料用途は、ファッションに機能性をプラスした婦人服が健闘、ダウンジャケットやアウトドアなどの高密度織物は2011年シーズンの「作り過ぎ」による在庫調整に手間取り苦戦が続き、海外向けも汎用ゾーンの商圏が韓国・台湾品に移行した。自動車関連用途のタイヤコードは高水準の織物の輸入が続く中、アジア地域のタイヤの需給バランス悪化で苦戦、またカーシート、シートベルトもエコカー補助金終了に伴う10月からの自動車減産を控え低調。カーテン向けは遮光・遮熱カーテンを除き、輸入製品に押され低調であった。

**ポリエステルS**：生産は3万8,909トン・前年比5.1%減。紡績用は主力のユニフォーム向けの生地・製品の在庫調整が進まず苦戦、震災需要で急増した純糸使いの帆布・重布向けも完全に止まりつつある。製綿用は布団製品の販売不振で初期出荷後の追加オーダーが来ない状況。不織布用は、衛材向けが堅調に推移、生活資材向けはウェットティッシュが製品・原反の輸入増加による競争激化で苦戦したが、パップ剤は堅調、車輻向けはエコカー補助金終了を控えて低調。湿式不織布向けは、水処理関係が低調であるが、フィルター向けや屋根材は安定した動きとなった。

**ナイロンF** :生産は2万5,379トン・前年比2.8%増、織物生産は3,001万㎡・同13.3%減。衣料用は、プレーンパンストが若い女性に受け入れられ好調を持続、カラータイツ用の出荷も堅調。一方、ダウンジャケットは、在庫増で苦戦が続き、輸出比率の高いアウトドアは、欧州の景気悪化でコーティングした高級品の苦戦が目立った。ハイテンションニットの国内は健闘したが、中国向け輸出が低調。自動車関連用途ではタイヤコード用がタイヤの小径化や需給バランス悪化で低調であったが、エアバッグ用は装着部位の拡大で好調。ホーサー（船舶係留用ロープ）用はリーマンショック前に受注した新造船の竣工が一巡したため大幅需要減。

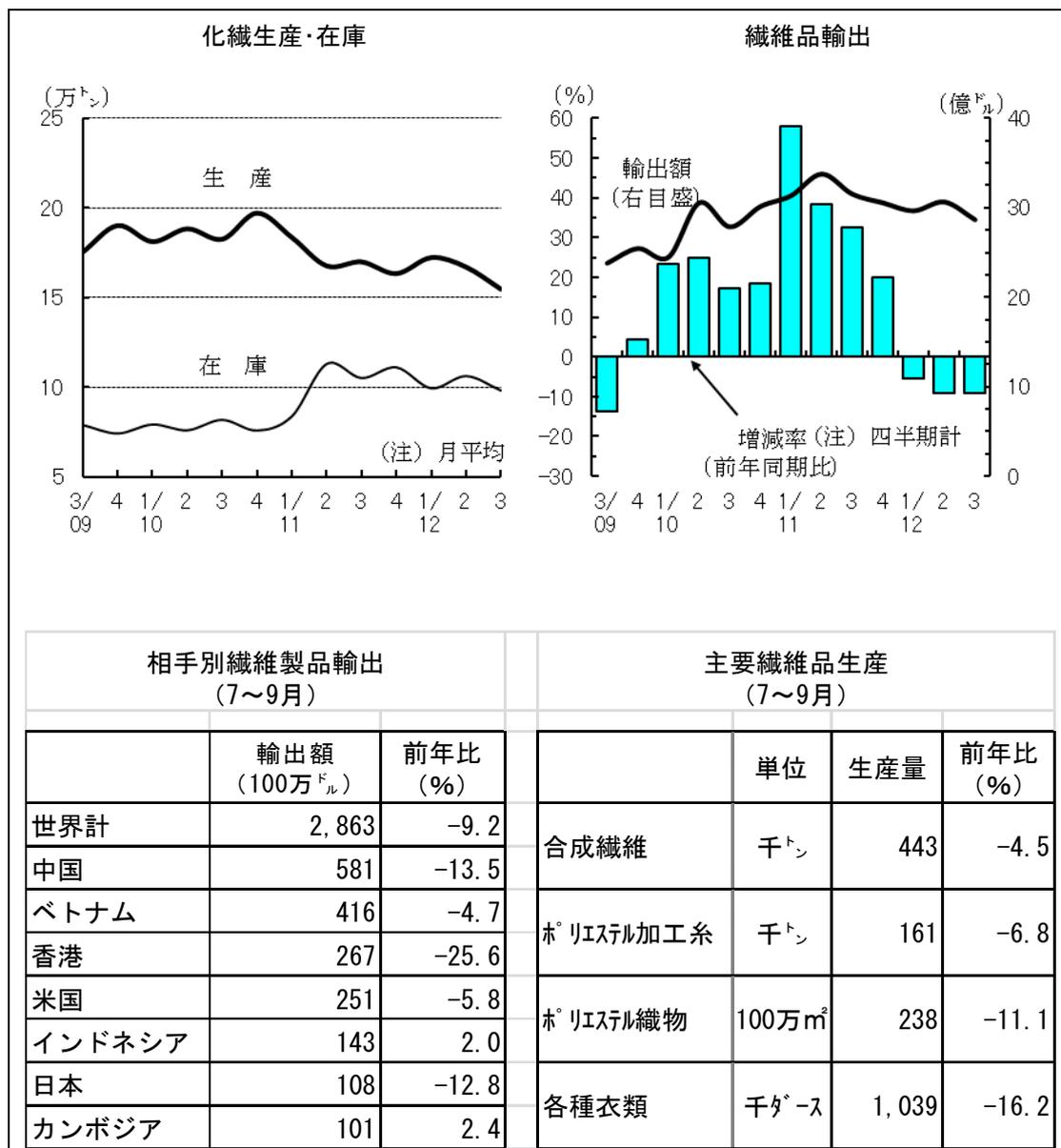
**アクリルS** :生産は3万3,264トン・前年比16.2%減、紡績糸生産は2,440トン・同13.0%減。衣料用は、昨年10-12月から前倒しでステーブルの出荷が続いたため、調整が入った。うち、セーター向けは、アクリルの企画減少で低調、保温肌着向けは、飽和感の台頭で伸び悩み気味、建寝装向けは、毛布・カーペット向けともに長期低落傾向に歯止めが掛からない。一方、輸出は4-6月期不振だった中国向けが、同国内の在庫調整が進んだことや、AN（アクリロニトリル）価格の底打ちで、9月に入り上向きに転じた。イランは、経済制裁強化で邦銀のL/C発行停止や、同国の外貨不足により、4月以降「ゼロ」が続いた。

7) 韓国



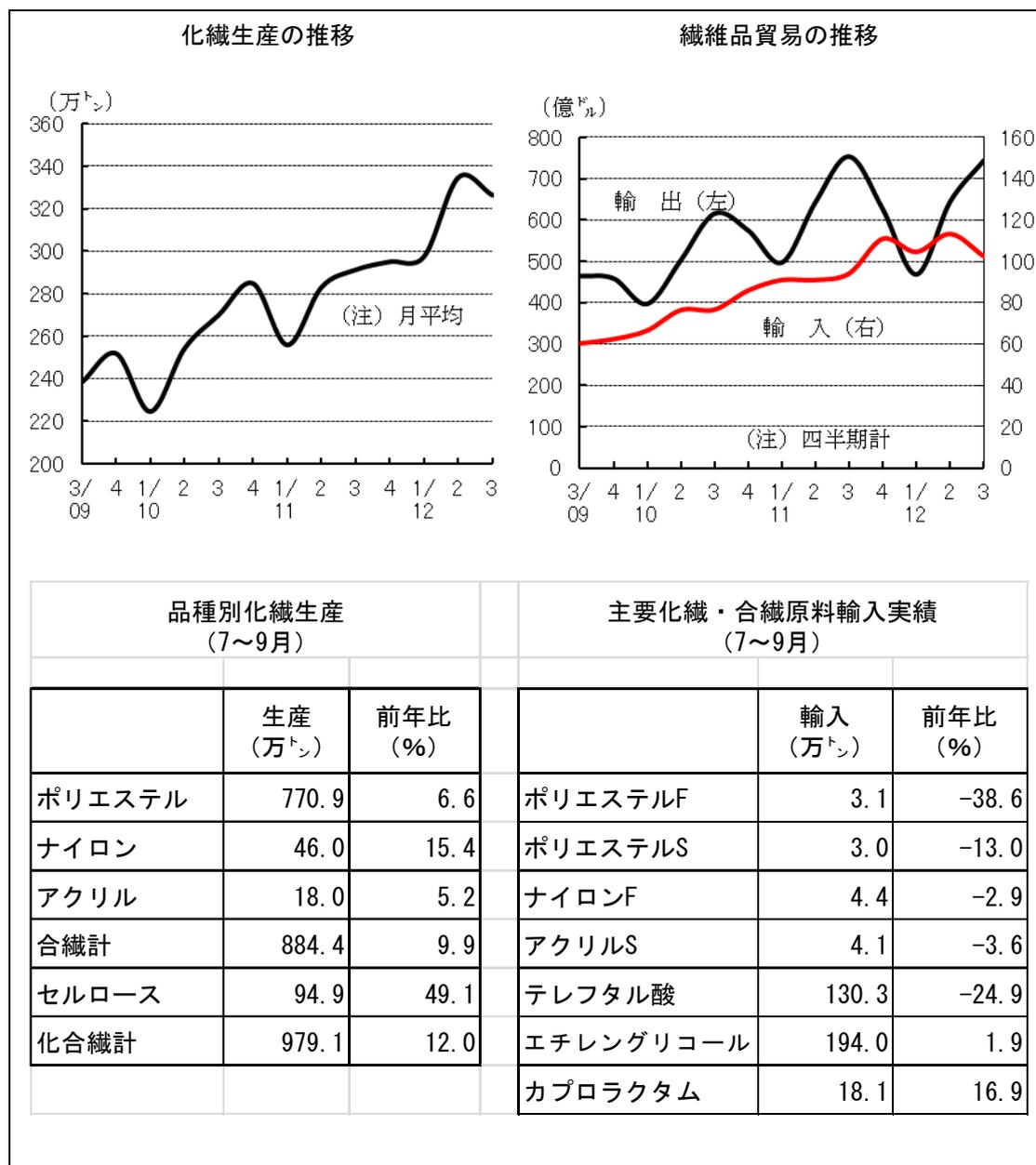
- ◆合繊生産は13期ぶりの前年実績割れ、繊維品輸出は前期に続き前年実績割れとなった。
- ◆第3四半期の合繊生産は前年同期比1.3%減の36.8万トン。一方で、期末在庫は8.4万トンと高水準が続いている。
- ◆第3四半期の繊維品輸出は前年同期比0.2%減の40.0億ドル、前期に続き前年実績を下回った。1-9月の繊維品輸出を相手別にみると、紡織品は全体で2.6%減であるが、ベトナム向けが4.2%増、3月に韓米FTAが発効した米国向けは7.8%増となった。衣類は全体で3.2%増、日本、ベトナム向けが2桁増となった。
- ◆直近(2012年10月)の繊維品の生産指数をみると、紡織品は前年同月比4.2%減、衣類は7.5%減と、ともに減少となった。

8) 台湾



- ◆ 化繊生産は6期連続の減産、繊維品輸出は3期連続の前年実績割れとなった。
- ◆ 第3四半期の化合繊生産は前年同期比9.0%減の46.4万トンとなった。主要合繊の生産は、ポリエステルS(4.3%増)を除き、ナイロンF(3.5%減)、ポリエステルF(19.8%減)、アクリルS(27.3%減)はいずれも前年実績割れとなった。合繊の期末在庫は前年同期比4.8%減となった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は、前年同期比9.2%減の28.6億ドル、主力の中国向けは13.5%減と不振が続いているほか、ベトナム向けが4.7%減、香港向けが25.6%減、米国向けが5.8%減と主力仕向国が軒並み減少となった。
- ◆ 主要繊維品の生産は、いずれも前年実績割れ。ポリエステル加工糸は6.8%減、ポリエステル織物、衣類生産はそれぞれ11.1%減、16.2%減と2桁の減少となった。

9) 中国



- ◆ 繊維生産は引続き拡大しているが、繊維品輸出は海外需要の減退から鈍化している。
- ◆ 第3四半期(7-9月)の化繊生産は12.0%増の979万ト、品種別には主力のポリエステルは6.6%増の771万ト、ナイロンは15.4%増の46万ト、アクリルは5.2%増の18万ト、レーヨンは49.1%増の95万トとなった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は前年同期比1.2%減の745億ドルとなった。一方、繊維品輸入は8.8%増の102億ドルとなった。
- ◆ 主要化繊の輸入をみると、いずれも前年実績割れとなった。一方、合繊原料輸入は、テレフタル酸は国内の増産の影響から24.9%減となったが、エチレングリコールは1.9%増の微増、カプロラクタムは16.9%増となった。

相手別繊維製品輸出 (1～9月)			繊維業界の主要指標 (1～8月)			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	1,927	1.0	企業数	万社	3.7	-
アジア	829	4.6	赤字企業数	万社	0.6	43.3
香港	119	2.7	主要業務収入	億元	35,396	9.3
日本	210	1.8	利潤総額	億元	1,570	-1.2
韓国	43	-12.9	工業総生産額	億元	36,394	10.8
アセアン	176	21.6	就業人数	万人	970	-2.2
EU	371	-13.2	繊維産業実際投資	億元	2,587	15.3
米国	311	3.8	うち化繊産業	億元	560	27.7

社会小売財消費総額 (1～9月)				繊維関連物消費者物価指数 (1～9月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億元	149,422	14.1	消費者価格指数・全製品	2.2
うち繊維品等	億元	6,665	17.8	消費者価格指数・衣類等	3.2

- ◆2012年1-9月の相手別の繊維製品輸出をみると、最大の仕向地であるEU向けは、域内景気の不振から13.2%減と大きく落ち込んだ。米国向けは3.8%増、日本向けは1.8%増と微増で推移した。一方、アセアン向けはFTAの効果もあり、21.6%増と引続き大幅増となった。
- ◆1-8月の繊維産業の業績、投資に関する主要指標をみると、主要業務収入は9.3%増と好調が続いているが、利潤は1.2%減と減益となった。赤字企業数が前年同期比43.3%の大幅増となった。繊維産業の実際完成投資は15.3%増、化繊産業は27.7%増と伸びは鈍化しているが大幅増が続いている。繊維産業の就業人数は前年同期比2.2%減の970万人と2012年になり減少に転じている。
- ◆繊維産業の衣料用内需は、輸出とは対照的に比較的好調に推移している。1-9月の繊維品商品売上は前年同期比17.8%増となった。また、衣類等の物価指数は前年同期比3.2%上昇した。

## 合繊4品種需要実績

(2012年7～9月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績				II. ポリエステルステープル需要実績					
(単位:トン、%)				(単位:トン、%)					
		2012年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比		2012年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比	
国	衣料用 (加工品輸出用含む。)	18,669	97.2	90.3	国	紡績用 (加工品輸出用含む。)	4,939	100.3	83.3
内	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	46,695	93.3	92.5	内	非紡績用 (加工品輸出用含む。)	31,504	102.6	95.2
需	計	65,364	94.4	91.9	需	計	36,443	105.5	96.7
要		(28,288)	(99.6)	(96.8)	要		(6,422)	(124.2)	(75.6)
	輸出 (原糸、加工糸)	3,709	161.2	85.6		輸出 (ステープル・トウ・トップ)	6,091	121.1	87.6
	需要計	69,073	96.5	91.5		需要計	42,533	107.5	95.2
	在庫	16,515	99.7	106.7		在庫	23,712	102.5	94.8
(注)国内需要の( )内数値は輸入量				(注)国内需要の( )内数値は輸入量					
III. ナイロンフィラメント需要実績				IV. アクリルステープル需要実績					
(単位:トン、%)				(単位:トン、%)					
		2012年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比		2012年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比	
国	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,179	102.0	91.5	国	衣料用 (加工品輸出用含む。)	4,862	66.6	74.0
内	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	16,244	100.7	95.4	内	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,195	92.7	85.6
需	計	25,423	101.2	94.0	需	計	7,057	73.0	77.3
要		(6,720)	(106.6)	(95.1)	要		(246)	(178.3)	(73.2)
	輸出 (原糸、加工糸)	5,442	101.4	119.2		輸出 (ステープル・トウ・トップ)	27,928	118.2	93.9
	需要計	30,865	101.2	97.6		需要計	34,985	105.1	90.0
	在庫	10,114	115.8	90.9		在庫	10,534	94.8	124.9
(注)国内需要の( )内数値は輸入量				(注)国内需要の( )内数値は輸入量					